

【目 標】

◆「技術分野の目標」

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに，技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め，技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

◆「家庭分野の目標」

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して，生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに，家庭の機能について理解を深め，これからの生活を展望して，課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

【3年間の学習内容】

「技術分野」

- A材料と加工に関する技術
- Bエネルギー変換に関する技術
- C生物育成に関する技術
- D情報に関する技術

「家庭分野」

- A家族・家庭と子どもの成長
- B食生活と自立
- C衣生活・住生活と自立
- D身近な消費生活と環境

*** 3学年では主にD情報に関する技術を学習します**

【評価の観点・方法】

(1) 「生活や技術への関心・意欲・態度」 (関)

積極的に取り組む意欲や態度を重視し，工具の扱いや準備・整理・片付けなど実習の計画性や積極性に関する事，毎時間の学習の取り組み状況，作品の進捗及び提出状況，学習ノートやレポートなどで評価します。

(2) 「生活を工夫し創造する力」 (創)

習得した知識や技術を積極的に活用し，生活を工夫したり創造したりする能力を，プログラミング実習における問題解決のアルゴリズム，レポート，定期テストなどで評価します。

(3) 「生活の技術」 (技)

作品の製作や実習を通して，基本的な技術が身についたかどうか，また，その技術を生活に生かしていくことができるかを学習過程における技術の習熟度状況，完成するまでの作品や実習での実技，実習レポートなどで評価します。

(4) 「基本的な生活の知識・理解」 (知)

実践的・体験的な学習活動を通して，基本的な知識を身につけているか，生活との関わりを理解できているか，定期テスト，レポートなどで評価します。

技術分野第3学年指導・評価計画

	学習指導要領の項目	実 習 等	評価項目
1 学 期	<p>(3) プログラムによる計測・制御</p> <p>ア, コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組み</p> <p>計測・制御システムは, センサ, コンピュータ, アクチュエータなどの要素で構成されていることや, 計測・制御システムの中では一連の情報がプログラムによって処理されていることを知る。</p> <p>イ, 情報処理の手順と, 簡単なプログラムの作成</p> <p>目的や条件に応じて, 情報処理の手順を工夫する能力を育成するとともに, 簡単なプログラムを作成できるようにする。情報処理の手順として, 順次, 分岐, 反復を含んだプログラムを作って製品を動かす。</p>	<p>フローチャート作成 (基礎)</p> <p>LEGO EV3 制御実習 期末考査 (ワークシート) ノート提出</p>	<p>知 関</p> <p>技 知 創 関</p>
2 学 期	<p>イ, プログラミング実習続き</p> <p>複雑な問題解決のためのプログラム作成 課題実習</p> <p>(1) 情報通信ネットワークと情報モラル</p> <p>イ 基本的な情報利用の仕組みを知る。</p> <p>ウ 著作権や発信した情報に対する責任を知り, 情報モラルについて考える</p> <p>エ 情報に関する技術の適切な評価・活用について考える</p>	<p>実習レポート提出</p> <p>期末考査</p>	<p>技 創 関</p> <p>(知) 技 関</p> <p>関</p> <p>知</p>
3 学 期	<p>(2) デジタル作品の設計・制作</p> <p>アメディアの特徴と利用方法, 制作品の設計</p> <p>イ多様なメディアの複合による表現や発信</p> <p>メディアの素材の特徴と利用方法や, 適切なソフトウェアを選択し, 多様なメディアを複合する方法について知ることができるようにする。また, 目的や条件に応じて, デジタル作品において利用するメディアの種類やデジタル化の方法, 複合する方法などを工夫する能力を育成する。</p>	<p>パソコン実習 作品提出</p> <p>期末考査</p>	<p>関・創 技</p> <p>知</p>

技術・家庭科（技術分野）家庭学習のてびき

学習は授業中心で十分です。授業中に集中して聴く習慣をつけましょう。テスト前には必ず教科書・ノートを持ち帰り復習してください。授業中にほとんど漏らさず習得できればテスト前はかなりゆったりと復習できるはずです。

最新の産業技術や伝統的な技術に関するニュース，また身のまわりの製品の素材や工夫されている点について関心をもって生活することで自然に身につく知識もあるはずです。

週1時間の授業ですので，1つの忘れ物で実習がかなり遅れてしまうこともあります。基本的な習慣をしっかりとつけましょう。

（技術分野の教科書・ノートはテスト一週間前を除き学校に置いていても結構です。）